

保育計画成果報告書

法人名	株式会社サンライズクローバー
施設名	ぱんだ保育園 六町園
報告者（役職）	関口 香織（代表）
住所・連絡先	東京都足立区南花畑2-2-5
	☎ 03-5851-9108
	E-mail p-sekiguchi@sunriseclover.co.jp

○タイトル（保育計画）

遊ぶのだ～いすき！コーナー遊び

○主な助成備品

- ① 紙芝居、絵本セット・パネルシアターステージセット・ブックスタンド
- ② キッチンセット・ぽぽちゃん人形セット
- ③ ブリオレールセット
- ④ カシオセルヴィアーノ・楽器セット
- ⑤ ウェイブバランス・レインボーバランスストーン・レインボートンネル

1. 保育計画策定の目的

子どもたちは遊ぶのが大好きです。そして、子どもたちにとって遊びきる体験、遊びの充実は、とても大切です。そこで、子どもたちが自由に好きな遊びを見つけ、遊びを広げながら、存分に遊び、人との関わりや様々な遊び体験の中から、創造力を養い、豊かな感性を育てていくことを目的に、コーナー遊びの保育計画を策定しました。

2. 具体的な実施内容

保育園の保育室をコーナー遊びの部屋に設定し、子どもたちが自分の好きな遊びを見つけ、じっくり遊べるようなスペースを作りました。

① 絵本コーナー

子どもが「どの絵本を見ようかな？」と興味をそそるように、購入させていただいた本棚を活用させていただき、絵本の並べ方に気を配っています。子どもたちは、自分で好きな絵本を見たり、保育士に読んでもらったり、保育士とスキンシップをとる良い機会にもなっています。おかげさまで、紙芝居の数も豊富になり、日常の保育の中でいろいろなお話を読んであげることができ、子どもたちのお話の世界が広がりました。

ひと昔前によく見かけられた紙芝居屋さんのように、紙芝居舞台で見る紙芝居は、子どもたちもお気に入りです。集中してよく見えています。



② おままごとコーナー

人気のおままごとコーナーでは、ごっこ遊びを楽しむ子どもたちが毎日います。お料理をして給食を作り、みんなで給食を食べる給食ごっこや、お人形にミルクを飲ませたり、おんぶしたり、トントンして寝かせてあげたりする先生ごっこなど、日常の保育園での生活を見立てたごっこ遊びが、遊びの中でたくさん展開されています。



③ 木製列車コーナー

木製列車コーナーでは、一人でもくもくと遊ぶ子どももいれば、友達と協力してレールをつなげ、友達と関わって遊ぶ姿も見られます。興味を持った遊びをじっくり集中して遊びこめる時間が持っています。



④ 楽器コーナー

楽器コーナーには、マラカス、タンバリン、ギター、カスタネット等の楽器玩具があり、自由に自分で楽器を手にして、楽しんでいる子どもたちです。

「どんな音が出るのかな？」と音を鳴らしてみたり、歌いながら楽器を鳴らしたり、身近に音楽を楽しめるようになってきました。



⑤ 運動コーナー

ウェーブバランス平均台、バランスストーンを設置し、足の裏をしっかりと使って歩く、バランスをとりながら歩くことを繰り返し、楽しんでいます。レインボートンネルは、遊びの中で、這う運動を十分楽しむことができ、0歳児の子どもたちもかわいい表情を見せてくれています。



3. その成果と評価

コーナー遊びを設置したことにより、日々の保育園生活の中で、子どもたちが自分の好きな遊びを見つけ、存分に好きな遊びを楽しんでいる様子が伺えます。

☆絵本コーナーにおいては、今後も常に子どもたちが興味をもって絵本とのふれあいを楽しめるように、現状の絵本数に加え、子どもたちの好きな絵本、興味をひく絵本を職員間で提案、選びながら、いろいろな絵本を定期的に購入していきたいと思っています。

☆運動遊びにおいては、はじめは、ウェーブバランス平均台の上もすぐに落ちてしまって歩けなかった子どももいました。しかし、継続的にこの運動遊びを続けてきたことによって、足の筋力、持久力、瞬発力がつき、バランス感覚も養われ、上手に歩けるようになり、この運動遊びを楽しんでいます。また、運動能力の発達に伴い、子どもたちが自信を持ち、達成感を味わうことができたことによって、さらにいろいろなことをやってみようという意欲も生まれてきています。

☆音楽あそびにおいては、電子ピアノを購入させていただいたことをきっかけに毎週1回ピアノ講師による音楽教室を保育の中に取り入れています。季節の歌を覚えたり、音楽に合わせて体を動かすリトミックや楽器遊びなど、音楽とふれあう機会が多くなり、音楽を通して表現力も育まれてきました。

また、今年度のクリスマス会において、子どもたちの日頃の音楽活動の発表の場を設け、楽器を用いて合奏の発表を行いました。この発表は、子どもたちの自信、達成感にもつながり、保護者の方にも保育園での活動を見ていただくとともに、子どもたちの成長と一緒に喜んでもらうことができ、とても良い会となりました。



4. 今後の課題と展望

この1年間、子どもたちは、様々な絵本や玩具、運動玩具とふれあい、保育士や友達との関わりを深め、たくさんの遊びを体験してきました。

子どもたちが豊かな感性、豊かな人間性を育てていくためには、この充実した遊び、存分に遊びきった体験の積み重ねが、これからも大切だと思います。

今後も子どもたち一人ひとりの遊びに保育士が寄り添いながら、様々な遊びの体験ができるよう、子どもたちとの関わりを大切にしていきたいと思っています。

また、地域の子どもたちにも、保育園に遊びに来てもらう機会を作り、コーナー遊びを楽しんでもらったり、音楽教室などにも一緒に参加してもらったり、様々な遊び体験をしてもらえるよう、地域の子育て支援にも力を入れていきたいと思っています。

以上